

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	91	施設名称	豊野少年自然の家
	所在地	宇城市豊野町	施設管理所属	社会教育課
	敷地面積	101,286.0 m ²	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	2,699.7 m ²	用途地域	
施設の目的	自然の中での集団宿泊生活を通して、その情操や社会性を豊かにし、心身を鍛錬することにより、健全な少年の育成を図ることを目的とする施設			



(出典:国土地理院)

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟	1984	RC	947.7	
2	宿泊棟	1984	RC	1,352.5	
3	体育館	1984	RC	399.5	

3. 建物毎の概要等

(1)管理棟

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟	1984	RC	947.7	2	0	36

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	18	18	15	1
適合度②/①	0.40	0.72	0.67	0.54	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数
	60年 ※(令和26年)
A・B項目から導かれる方向性	・豊野少年自然の家保全計画に基づき目標使用年数を60年に設定し、計画的に改修工事を実施する。
	・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用率や道路アクセスに課題)
	・豊野少年自然の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。 ・R6 屋根・外壁改修 ・R9 内部改修・機械設備改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用					112.8						
更新・修繕費		61.2		136.9			0.2		0.1	1.7	53.4
維持管理費		4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
撤去費											
合計		65.4	4.2	141.1	117.0	4.2	4.4	4.2	4.3	5.9	57.6
累計		65.4	69.6	210.7	327.7	331.9	336.3	340.5	344.8	350.7	408.3

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)宿泊棟

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	宿泊棟	1984	RC	1,352.5	2	0	36

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	19	19	15	1
適合度②/①	0.30	0.76	0.70	0.54	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 60年
※(令和26年)

- ・豊野少年自然の家保全計画に基づき目標使用年数を60年に設定し、計画的に改修工事を実施する。
- ・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用度や道路アクセスに課題)
- ・豊野少年自然の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
 - ・R6 屋根・外壁改修
 - ・R9 内部改修・機械設備改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦 西暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用					160.9						
更新・修繕費		74.5		127.9		89.3	0.2		15.0	1.7	
維持管理費		6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
撤去費											
合計		80.5	6.0	133.9	167.0	95.3	6.2	6.0	21.0	7.7	6.0
累計		80.5	86.5	220.4	387.4	482.7	488.9	494.9	515.9	523.6	529.6

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(3)体育館

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	体育館	1984	RC	399.5	1	0	36

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	20	21	16	0
適合度②/①	0.30	0.80	0.78	0.57	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 60年
※(令和26年)

- ・豊野少年自然の家保全計画に基づき目標使用年数を60年に設定し、計画的に改修工事を実施する。
- ・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(道路アクセス等に課題)
- ・豊野少年自然の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
 - ・R6 外部改修
 - ・R9 内部改修・空調改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦 西暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
転用費用		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
長寿命化費用		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
更新・修繕費		17.2	0.0	30.6	0.0	2.2	0.0	0.0	3.9	0.0	2.6
維持管理費		1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
撤去費											
合計		19.0	1.8	32.3	1.8	3.9	1.8	1.8	5.7	1.8	4.4
累計		19.0	20.7	53.1	54.8	58.8	60.5	62.3	68.0	69.8	74.2

施設アセスメント調査から算出。

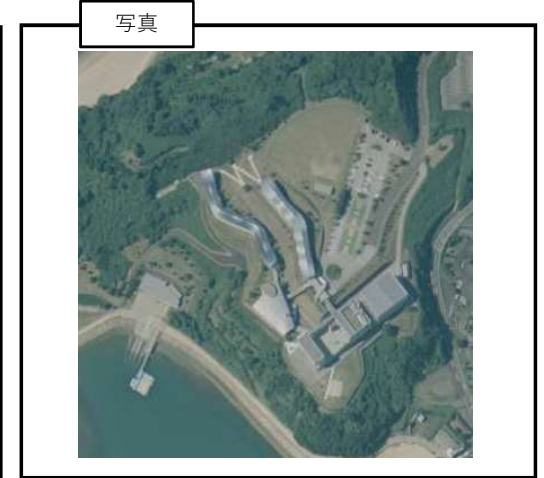
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	92	施設名称	あしきた青少年の家
	所在地	葦北郡芦北町	施設管理所属	社会教育課
	敷地面積	125,646.59 m ²	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	8,348.1 m ²	用途地域	
施設の目的	県自然体験活動や社会体験活動を基に、青少年の健全な育成を支援する施設であると同時に、幼児から高齢の方までが、快適で安全に活動できる環境と生涯学習の場を寄与する行政の施策実施のための施設			



(出典:国土地理院)

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1998	RC	2,902.5	
2	洋室宿泊棟	1998	RC	1,630.4	
3	和室宿泊棟	1998	RC	1,676.0	
4	食堂浴室棟	1998	RC	1,144.9	
5	体育館	1997	LS	994.3	

3. 建物毎の概要等

(1) 本館

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1998	RC	2,902.5	3	0	23

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	18	21	17	2
適合度②/①	0.40	0.72	0.78	0.61	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和40年)
	・あしきた青少年の家保全計画に基づき目標使用年数を60年に設定し、計画的に改修工事を実施する。 ・あしきた青少年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。 ・R3、4 トイレ改修・屋根防水 ・R5 給排水設備改修 ・R10 内部改修 ・R13 外部改修	

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		120.2		455.0			0.3		21.4		20.5
維持管理費		12.9	12.9	12.9	12.9	12.9	12.9	12.9	12.9	12.9	12.9
撤去費											
合計		133.1	12.9	467.9	12.9	12.9	13.2	12.9	34.3	12.9	33.4
累計		133.1	146.0	613.9	626.8	639.7	652.9	665.8	700.1	713.0	746.4

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)洋室宿泊棟

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	洋室宿泊棟	1998	RC	1,630.4	2	0	23

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	19	23	16	1
適合度②/①	0.40	0.76	0.85	0.57	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

目標使用年数 60年
※(令和40年)

A・B項目から導かれる方向性

- ・あしきた青少年の家保全計画に基づき目標使用年数を60年に設定し、計画的に改修工事を実施する。
- ・あしきた青少年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
 - ・R3, 4 トイレ改修
 - ・R6 給排水設備改修
 - ・R14 内部改修

(3)和室宿泊棟

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	和室宿泊棟	1998	RC	1,676.0	2	0	23

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	19	23	18	1
適合度②/①	0.40	0.76	0.85	0.64	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

目標使用年数 60年
※(令和40年)

A・B項目から導かれる方向性

- ・あしきた青少年の家保全計画に基づき目標使用年数を60年に設定し、計画的に改修工事を実施する。
- ・あしきた青少年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
 - ・R3, 4 トイレ改修
 - ・R6 給排水設備改修
 - ・R13 内部改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		79.2	24.7	102.4		91.5			65.5		
維持管理費		7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2
撤去費											
合計		86.4	31.9	109.7	7.2	98.8	7.2	7.2	72.8	7.2	7.2
累計		86.4	118.3	228.0	235.3	334.0	341.3	348.5	421.3	428.6	435.8

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		81.4	25.3	105.3		94.1			67.4		
維持管理費		7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4
撤去費											
合計		88.9	32.8	112.8	7.4	101.5	7.4	7.4	74.8	7.4	7.4
累計		88.9	121.6	234.4	241.9	343.4	350.8	358.3	433.1	440.5	448.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4) 食堂浴室棟

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	食堂浴室棟	1998	RC	1,144.9	2	0	23

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	19	24	19	0
適合度②/①	0.40	0.76	0.89	0.68	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 60年
※(令和40年)

・あきた青少年の家保全計画に基づき目標使用年数を60年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・あきた青少年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
・R3, 4 トイレ改修
・R6 屋根防水改修
・R12 給排水設備改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費			107.9	2.0		35.0		1.0	28.4	14.6	3.9
維持管理費		5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1
撤去費											
合計		5.1	113.0	7.0	5.1	40.1	5.1	6.1	33.5	19.7	9.0
累計		5.1	118.1	125.1	130.2	170.3	175.4	181.4	214.9	234.6	243.6

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(5) 体育館

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
5	体育館	1997	LS	994.3	2	0	23

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	19	24	19	0
適合度②/①	0.40	0.76	0.89	0.68	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 60年
※(令和39年)

・あきた青少年の家保全計画に基づき目標使用年数を60年に設定し、計画的に改修工事を実施する。

・あきた青少年の家保全計画に基づき、以下の改修工事を行う。
・R6 外壁改修
・R12 防水改修・内部改修
・R21 屋根改修

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		76.5	5.6	142.3				51.1	16.2		
維持管理費		4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
撤去費											
合計		80.9	10.0	146.8	4.4	4.4	4.4	55.6	20.6	4.4	4.4
累計		80.9	90.9	237.6	242.0	246.5	250.9	306.4	327.0	331.5	335.9

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	93	施設名称	県立図書館
	所在地	熊本市中心区出水2丁目	施設管理所属	社会教育課
	敷地面積	水前寺江津湖公園内	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	9,460.0 m ²	用途地域	第二種中高層住居専用地域
施設の目的	県民に対し生活や仕事の課題解決、学びを深めること等に役立つ資料や情報を積極的に提供する。			



(出典: 国土地理院)

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	図書館	1985	SRC	9,460.0	

3. 建物毎の概要等

(1) 図書館

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	図書館	1985	SRC	9,460.0	4	0	35

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	16	19	18	1
適合度②/①	0.40	0.64	0.70	0.64	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	90年
		※(令和57年)
	・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することができる。	
	・令和5(2023)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。	

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用						1,125.7					
更新・修繕費		120.6		820.1	100.8				152.7	8.0	
維持管理費		42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0
撤去費											
合計		162.6	42.0	862.2	142.9	1,167.8	42.0	42.0	194.7	50.1	42.0
累計		162.6	204.7	1,066.8	1,209.7	2,377.5	2,419.5	2,461.5	2,656.3	2,706.3	2,748.4

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	94	施設名称	県文化財資料室
	所在地	熊本市南区城南町	施設管理所属	文化課
	敷地面積	26,116.19 m ²	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	2,505.2 m ²	用途地域	
施設の目的	県内各地から出土した文化財を整理し、文化財や調査資料を大切に保管するための施設			



(出典: 国土地理院)

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟	1983	RC	682.7	
2	展示体験学習棟	2011	LS	317.1	
3	出土遺物整理室	2015	S	236.8	
4	作業棟	1983	RC	497.3	
5	整理棟	1983	RC	771.3	

3. 建物毎の概要等

(1) 管理棟

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟	1983	RC	682.7	2	0	37

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	5	16	19	17	1
適合度②/①	0.50	0.64	0.70	0.61	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 90年
※(令和55年)

・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和3(2021)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用				81.2							
更新・修繕費		22.4		45.3		38.3			3.6		8.7
維持管理費		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
撤去費											
合計		25.5	3.0	129.6	3.0	41.4	3.0	3.0	6.6	3.0	11.7
累計		25.5	28.5	158.1	161.1	202.4	205.5	208.5	215.1	218.1	229.9

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)展示体験学習棟

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	展示体験学習棟	2011	LS	317.1	1	0	9

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	17	20	18	0
適合度②/①	0.40	0.68	0.74	0.64	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和53年)
・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。		

(3)出土遺物整理室

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	出土遺物整理室	2015	S	236.8	2	0	6

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	16	19	19	2
適合度②/①	0.30	0.64	0.70	0.68	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和57年)
・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。		

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		3.4		7.8		4.0	2.3		0.3		
維持管理費		1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
撤去費											
合計		4.8	1.4	9.2	1.4	5.5	3.7	1.4	1.7	1.4	1.4
累計		4.8	6.2	15.4	16.8	22.2	25.9	27.4	29.0	30.4	31.8

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費			0.8	8.9		2.0				0.8	1.6
維持管理費		1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
撤去費											
合計		1.1	1.9	10.0	1.1	3.0	1.1	1.1	1.1	1.9	2.6
累計		1.1	2.9	12.9	14.0	17.0	18.0	19.1	20.1	22.0	24.6

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4)作業棟

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	作業棟	1983	RC	497.3	1	0	38

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	18	20	18	1
適合度②/①	0.30	0.72	0.74	0.64	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和25年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。	

(5)整理棟

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
5	整理棟	1983	RC	771.3	2	0	37

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	17	18	14	1
適合度②/①	0.40	0.68	0.67	0.50	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	90年
		※(令和55年)
	・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。	
	・令和3(2021)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。	
	・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(職員満足度や道路アクセスに課題)	

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		38.3			2.1				6.3	6.1	
維持管理費		2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2
撤去費											
合計		40.5	2.2	2.2	4.3	2.2	2.2	2.2	8.5	8.3	2.2
累計		40.5	42.8	45.0	49.3	51.5	53.7	55.9	64.5	72.7	75.0

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用				91.8							
更新・修繕費		109.1		1.3		39.3	0.1		6.9	1.1	4.4
維持管理費		3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4
撤去費											
合計		112.5	3.4	96.5	3.4	42.7	3.5	3.4	10.3	4.5	7.8
累計		112.5	115.9	212.5	215.9	258.6	262.1	265.6	275.9	280.4	288.2

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	95	施設名称	装飾古墳館
	所在地	山鹿市鹿央町	施設管理所属	文化課
	敷地面積	71,226.72 m ²	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	2,099.0 m ²	用途地域	
施設の目的	装飾古墳の保護・活用、そして研究のための施設			



(出典: 国土地理院)

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1991	SRC	2,099.0	

3. 建物毎の概要等

(1) 本館

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1991	SRC	2,099.0	1	1	29

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	19	21	15	2
適合度②/①	0.40	0.76	0.78	0.54	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数
	90年 ※(令和63年)
A・B項目から導かれる方向性	・適切な保全を実施しながら継続利用することとし、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。
	・令和11(2029)年度を目安として長寿命化改修の(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。
	・保全計画に基づき、令和3年度に外壁・屋根・空調設備の改修工事を行う。

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		126.5		99.5		64.1			28.5	5.5	7.1
維持管理費		9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3
撤去費											
合計		135.8	9.3	108.8	9.3	73.5	9.3	9.3	37.9	14.8	16.4
累計		135.8	145.2	254.0	263.3	336.8	346.1	355.4	393.3	408.1	424.5

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

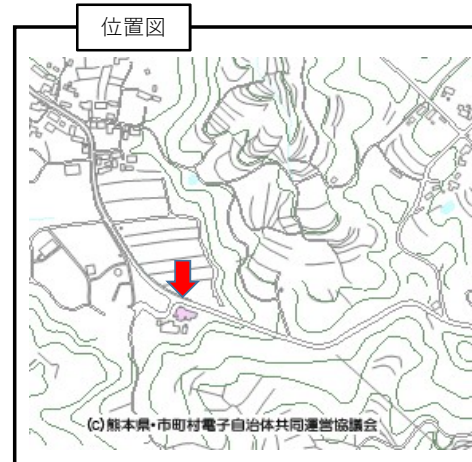
1. 施設概要

基本情報	施設番号	96	施設名称	温故創生館
	所在地	山鹿市菊鹿町	施設管理所属	文化課
	敷地面積	448,961.34 m ²	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	818.1 m ²	用途地域	
施設の目的	鞠智城が築かれた時代やその役割、城の構造について、展示と映像で学べる施設			

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	2002	W	818.1	



(出典: 国土地理院)

3. 建物毎の概要等

(1) 本館

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	2002	W	818.1	2	0	19

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	19	20	16	1
適合度②/①	0.30	0.76	0.74	0.57	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和44年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。	
	・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用度や道路アクセスに課題)	

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費			87.5	27.8			1.1	4.6	0.2	5.0	
維持管理費		3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6
撤去費											
合計		3.6	91.1	31.5	3.6	3.6	4.8	8.3	3.8	8.7	3.6
累計		3.6	94.7	126.2	129.8	133.5	138.2	146.5	150.3	159.0	162.6

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	97	施設名称	県立美術館分館
	所在地	熊本市中央区千葉城町	施設管理所属	文化課
	敷地面積	4,071.43 m ²	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	5,084.6 m ²	用途地域	第二種住居地域
施設の目的	古代から現代美術までを網羅する総合美術館である県立美術館の分館であり、美術品等の展示のための貸会場			



(出典: 国土地理院)

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	美術館分館	1958	RC	5,084.6	

3. 建物毎の概要等

(1) 美術館分館

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	美術館分館	1958	RC	5,084.6	4	1	62

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方角性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	15	19	17	1
適合度②/①	0.40	0.60	0.70	0.61	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 60年 ※(令和30年)
	・当面の間、適切な保全を実施しながら継続利用する。 ・令和3(2021)年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用		3,050.8									
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費			38.9	38.4			1.0		60.0		
維持管理費		22.6	22.6	22.6	22.6	22.6	22.6	22.6	22.6	22.6	22.6
撤去費											
合計		3,073.4	61.5	60.9	22.6	22.6	23.6	22.6	82.6	22.6	22.6
累計		3,073.4	3,134.9	3,195.8	3,218.4	3,241.0	3,264.5	3,287.1	3,369.7	3,392.3	3,414.9

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	98	施設名称	県立美術館
	所在地	熊本市中央区二の丸	施設管理所属	文化課
	敷地面積	0.0 m ²	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	7,942.9 m ²	用途地域	第二種住居地域
施設の目的	古代から現代美術までを網羅する総合美術館			



(出典:国土地理院)

2. 建物別一覧

面積:m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	展示館及び事務室	1975	RC	7596.1	
2	永青文庫常設展示室	1977	RC	346.8	

3. 建物毎の概要等

(1) 展示館及び事務室

① 概要

面積:m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	展示館及び事務室	1975	RC	7,596.1	3	1	45

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	16	20	17	3
適合度②/①	0.30	0.64	0.74	0.61	0.43

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数
	90年 ※(令和47年)

・適切な保全を実施しながら継続利用することとし、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・保全計画に基づき、令和3年度に以下の改修工事を行う。

- ・展示室改修(第1展示室床張替、遮光壁新設工事)
- ・事務棟トイレ改修、執務室照明LED化
- ・外部シャッター更新工事
- ・収蔵庫扉開閉調整
- ・装飾古墳室壁・天井塗装改修、照明LED化
- ・外壁・床タイル改修
- ・荷物用エレベーター改修(シャッター設置、天井改修工事)

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		903.9									
更新・修繕費		160.7		108.2		755.4	7.5	24.6	6.5		25.8
維持管理費		33.7	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7
撤去費											
合計		1,098.4	33.7	142.0	33.7	789.1	41.2	58.4	40.2	33.7	59.5
累計		1,098.4	1,132.1	1,274.1	1,307.9	2,097.0	2,138.2	2,196.6	2,236.8	2,270.5	2,330.1

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)永青文庫常設展示室

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	永青文庫常設展示室	1977	RC	346.8	1	0	43

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	16	23	17	1
適合度②/①	0.40	0.64	0.85	0.61	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 60年
※(令和19年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用が可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦 西暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		4.1		34.5		0.6			1.5		4.8
維持管理費		1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
撤去費											
合計		5.6	1.5	36.0	1.5	2.1	1.5	1.5	3.0	1.5	6.3
累計		5.6	7.1	43.1	44.7	46.8	48.3	49.9	52.9	54.4	60.7

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	99	施設名称	県立総合体育館
	所在地	熊本市西区上熊本1丁目	施設管理所属	体育保健課
	敷地面積	32,940.79 m ²	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	15,314.8 m ²	用途地域	準工業地域
施設の目的	熊本県のスポーツの中核施設として、レクリエーションから国際スポーツイベントを行う施設			

2. 建物別一覧

面積：m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	体育館	1982	RC	15314.8	



(出典：国土地理院)

3. 建物毎の概要等

(1) 体育館

① 概要

面積：m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	体育館	1982	RC	15,314.8	2	0	39

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	19	19	15	2
適合度②/①	0.40	0.76	0.70	0.54	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 90年
※(令和54年)

・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・スポーツ施設の整備のあり方について、今後、あらゆる可能性を考慮した検討を行い、県民的議論を深めた上で、方向性を取りまとめる。

・プール棟、機械室の外壁改修及び全館放送設備改修に係る設計
設計時期：令和3年6月以降

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用			1,822.5								
更新・修繕費		1,177.6		3,031.0		34.9			249.4		
維持管理費		68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0
撤去費											
合計		1,245.7	1,890.5	3,099.0	68.0	102.9	68.0	68.0	317.5	68.0	68.0
累計		1,245.7	3,136.2	6,235.2	6,303.2	6,406.1	6,474.2	6,542.2	6,859.7	6,927.7	6,995.8

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

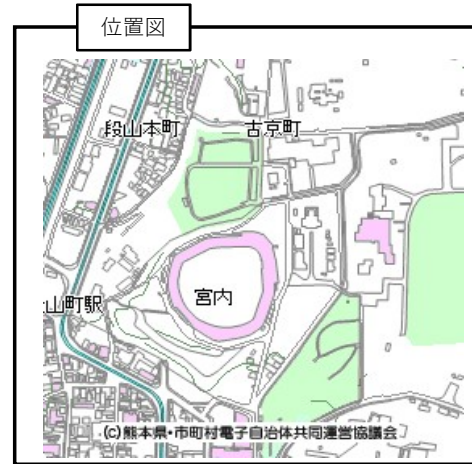
1. 施設概要

基本情報	施設番号	100	施設名称	藤崎台県営野球場
	所在地	熊本市中央区宮内	施設管理所属	体育保健課
	敷地面積	62,276.0 m ²	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	2,795.2 m ²	用途地域	第二種住居地域
施設の目的	高校野球をはじめアマチュア野球からプロ野球まで行うことができる施設			

2. 建物別一覧

面積：m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	事務所	1960	RC	2795.2	



(出典：国土地理院)

3. 建物毎の概要等

(1) 事務所

① 概要

面積：m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	事務所	1960	RC	2,795.2	3	0	60

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方角性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	16	17	11	2
適合度②/①	0.40	0.64	0.63	0.39	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 60年 ※(令和2年)
	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の間、適切な維持保全を実施しながら継続利用することが可能である。 ・令和3(2021)年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。 ・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用率、職員満足度や道路アクセスに課題) ・スポーツ施設の整備のあり方について、今後、あらゆる可能性を考慮した検討を行い、県民的議論を深めた上で、方向性を取りまとめる。 <p>※シミュレーションは継続利用。</p>

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦 西暦	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		237.4	50.2	435.1			33.7	0.5	37.0	5.1	
維持管理費		12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4
撤去費											
合計		249.8	62.7	447.5	12.4	12.4	46.1	12.9	49.4	17.5	12.4
累計		249.8	312.5	760.0	772.4	784.8	830.9	843.9	893.3	910.8	923.2

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。